

# 第17回日本PTEG研究会学術集会 採択結果

シンポジウム：発表時間6分、質疑2分、総合討論20分

一般演題：発表時間4分、質疑2分

登録番号	演題番号	時間	セッション名	演題名
1	S-1	13:35～14:43	シンポジウム：PTEGからみえる明日	当科において栄養管理目的で行ったPTEG例の臨床経過～導入から5年を経過して
2	1-1	11:00～11:36	セッション1：症例報告	気管切開例に対するPTEG施行の経験
3	2-1	11:36～12:12	セッション2：造設・管理の工夫	穿刺用バルーン付きオーバーチューブによる内視鏡補助下PTEGの検討
4	S-4	13:35～14:43	シンポジウム：PTEGからみえる明日	PTEGとPEGの予後の比較検討 -幽門側胃切除例を対象としたpilot study-
5	3-3	14:55～15:31	セッション3：現状と今後	当院における超高齢者へのPTEG造設の検討
6	S-2	13:35～14:43	シンポジウム：PTEGからみえる明日	腹膜透析患者に対する経皮経食道胃管造設術のこれから ～在宅生活を可能にする地域連携構築～
7	3-4	14:55～15:31	セッション3：現状と今後	PTEGと医療への役割を考える—災害時の意義を中心に
8	2-2	11:36～12:12	セッション2：造設・管理の工夫	PTEG固定具の工夫
9	2-5	11:36～12:12	セッション2：造設・管理の工夫	維持透析経腸栄養施行症例に対しラコールNF600mlをベースとした栄養管理について
10	2-3	11:36～12:12	セッション2：造設・管理の工夫	PTEG自己抜去を防ぐために（piercing methodを用いて）
11	3-2	14:55～15:31	セッション3：現状と今後	当院におけるPTEG施行症例の検討
12	4-5	15:31～16:07	セッション4：減圧	PTEG造設後、自宅退院をした1症例 ～自宅退院への今後の課題を考えて～
15	4-4	15:31～16:07	セッション4：減圧	胃癌腹膜播種の輸入脚症候群に対し、ENBDカテーテルを使用して減圧に成功したPTEG患者の2症例
16	1-3	11:00～11:36	セッション1：症例報告	PTEGカテーテル抜去後も瘻孔が閉鎖しなかった一例
17	4-2	15:31～16:07	セッション4：減圧	癌性イレウスを伴うS状結腸がん再発のドレナージ治療において経皮経食道胃管挿入術（PTEG）が有効であった1例
19	S-3	13:35～14:43	シンポジウム：PTEGからみえる明日	PTEG造設の適応決定から術者教育まで～当院における現状と課題について～
20	1-2	11:00～11:36	セッション1：症例報告	経腸栄養離脱等、明日につながったPTEGの症例
21	S-5	13:35～14:43	シンポジウム：PTEGからみえる明日	PTEG one step 幽門輪後留置法施行例の追跡調査報告—従来法との比較—
22	3-6	14:55～15:31	セッション3：現状と今後	PTEG普及のために
23	4-6	15:31～16:07	セッション4：減圧	PTEG造設が選択肢の一つであった症例
24	1-5	11:00～11:36	セッション1：症例報告	胃全摘出後患者の誤嚥性肺炎と低栄養による両側胸水貯留に対し、経皮経食道胃管挿入術を用いた経腸栄養が著効した一例
25	3-5	14:55～15:31	セッション3：現状と今後	日本PTEG研究会の今後の発展と事務局運用について
26	4-1	15:31～16:07	セッション4：減圧	胃癌術後多発縫合不全に対する集中治療に減圧PTEGが有効であった1例
27	1-6	11:00～11:36	セッション1：症例報告	当院におけるPTEG施行によりQOL改善に至った症例
28	1-4	11:00～11:36	セッション1：症例報告	ストーマ造設後によるPEG造設困難な頭頸部癌症例に対し、PTEG造設を行った1例
29	4-3	15:31～16:07	セッション4：減圧	消化器癌終末期等による腸管通過障害に対する減圧目的にPTEGを造設した3例
30	S-6	13:35～14:43	シンポジウム：PTEGからみえる明日	安全で効果的なPTEGの使用法の工夫
31	2-4	11:36～12:12	セッション2：造設・管理の工夫	ボタン型PTEGチューブにより長期栄養管理を行っている4症例
32	3-1	14:55～15:31	セッション3：現状と今後	当院の経皮経食道胃管挿入術（PTEG）の現状
33	2-6	11:36～12:12	セッション2：造設・管理の工夫	当院における経腸栄養管理について～PTEGは胃瘻？腸瘻？